

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	古民家ゆめの森こども園		公表日	令和6年10月15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6	0		活動スペースは十分確保できています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		国の基準人数は確保できています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	生活空間については施設内だけでなく庭など子ども主体で活動等を進められるよう特にはっきりとした部屋割りなどはせず、臨機応変に使用できるようにしています。また、玩具等は子どもたちにも片付けがしやすいようケースに入れたり、ネームシールなどを貼ったりしてわかりやすく工夫をしています	現在、身体に障がいのあるおじさんの利用がないため施設の完全なバリアフリー化はしていません
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	生活空間については施設内だけでなく庭など園舎周りの環境も含み静の活動、動の活動が楽しめる様その都度工夫しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別で過ごすための部屋は特別に設けてはいませんが、子どもの様子や状況に合わせてスタッフ用の事務室や和室を子どもたちと話し合っている友だちのために空けて提供するなどの工夫をしています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日、送迎後に短時間でもその日の気づきや課題などをスタッフ同士で報告したり、参加できなかったスタッフには翌日共有したりするなどお互いに報連相を意識するようにしています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表についてはスタッフ全員で把握し、保護者からの意向や意見について改善出来るところは前向きに検討するよう努力しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	送迎後の振り返りや定期的にスタッフミーティング、個別のケース会議を行い業務につながりようになっています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者による外部評価はおこなっておりませんが、市や県の監査を受けたり、地域の方からのアドバイスやご意見を伺ったりして業務改善に努めています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		園内、または法人内での研修は定期的に行い職員の質の改善に努めていますが、外部の研修等にはあまり参加できていないので今後情報を収集し必要に応じて参加していきたいと思っています
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに準じて作成し、ホームページで公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	平素から子ども一人一人との対話を大切に、その中で日常生活、学校生活、家庭、また本人自身の困り感や悩みなどを引き出し、職員間で共有しながら計画に入れるようになっています	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	平素から子どもの気になる言動などは児童発達支援管理責任者に報告してもらい、職員全員で共有しています。また、計画書の作成にあたってはいろいろな職員の考えや子どもの見え方などをケース会議で話し合うようにしています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	放課後等デイサービス計画書については作成前後に話し合ったり、確認をしたりし共通理解のもと支援を行うよう心がけています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントについては日々の活動のなか自然な形で行うことが多いので特にツールなどは利用していませんが、職員全員が子ども一人一人の声を常に受け止め、確認や検討しながら支援ができるよう努力をしています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		法改正により放課後等デイサービスガイドラインを踏まえながら支援計画書を作成していると思うが、今後県の監査等を受け更に改善点があればなおしていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	定期的に立案会議を行い、日々子ども達から出る意見を検討しながら職員同士のチームワークを大事にした活動内容を決めています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童を支援する職員を固定化せず、いろいろな職員が支援することで活動に変化をもたせたり、翌日の活動を子どもたちに話し合わせて取り入れるようにしています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子ども一人一人の得手不得手、また状況を踏まえながらじっくりと個別で集中したり、出来るだけいろいろな職員（大人）や子どもと関わりが持てたりできるように活動計画を立案しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には短時間でも必ずミーティングを行い、支援についてや職員自身の体調、役割分担、送迎時間や担当の確認などを確認するようにしています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後には必ずその日関わった子どもの様子や気になる言動、また送迎時に保護者から伝えられた内容などを報告しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		支援終了後に子ども一人一人の様子を記録するようにはしているが、児童発達支援管理責任者以外、なかなか職員間で見直す機会はないので今後検討していきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	年度末には面談を行っていますが、日々のモニタリングはなかなか難しいため、送迎時に保護者から状況を聞いたり、事業所での様子をお伝えしたりするようにしています。また子ども（個人）のグループラインを活用することもあります	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	ガイドラインの「4つの基本活動」についてはそれぞれを組み合わせ計画し、一人一人が自信をもって活動できるよう工夫しています	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	職員主体の活動にならないよう子どもたちと話し合いの場を設けたり、活動が見つかりにくい子どもには複数の活動を提案して自己決定できる機会を多く持たせるようにしています		

関係機関 や保護者 との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	各関係機関との支援会議には児童発達支援管理者が必ず出席しています。また必要に応じては特定の子どもに関わる機会が多い保育士に同席をお願いすることもあります（今年度はありません）	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		必要に応じては連携して支援を行うことを考えてはいますが、現在特に連携が必要と判断される子どもの利用はありません
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	毎月保護者の方から学校の下校時間、行事等による利用の有無などを記載する「利用予定表」を提出していただいています。基本的には学校と保護者間で連絡を取り合っており、緊急時の予定変更やトラブル、また体調不良などは学校、または保護者と早急に直接連絡をとるようにしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	就学時の入所児については支援会議の中で情報共有をしたり、必要と判断した場合は保護者の許可を得て情報提供をお願いすることもあります	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		現在該当者はありませんが、今後事業所等から依頼があれば保護者の許可を得て情報提供をするようにします
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		支援会議等を通して利用者が関わっている専門機関があれば助言等を伺い職員間で情報を共有して支援方法の改善などに役立てたいと思います
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		通常児童クラブや児童館との交流はしていません 地域(校区内)の他児との交流については学校行事や地区の交流会を利用いただき事業所としてはありません
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		協議会への参加はできていません 今後、機会があれば検討していきたいと思えます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の送迎時に子どもの様子やちょっとした成長の姿を保護者の方にお伝えするようにしています また、必要に応じて子どものグループラインや電話等でお伝えし状況や課題について共通理解に努めています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		現在取り組みはありませんが、今後検討したいと思えます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	ご利用前の見学や契約時に説明させていただいています また規定や支援プログラムなどで変更等があればその都度個別にお伝えさせていただいています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画書の作成時だけでなく、日頃の送迎時などを利用し、子どもやご家族の意向を確認するよう努力しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		送迎時や電話等でアポを取り直接お会いして支援内容等の説明をするようにしていますが、お仕事などでなかなかお会いするタイミングが合わないこともあり一方的で簡単な説明で終わらせてしまうことがあります

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	その都必要に応じて、保護者の方に来訪してもらったり、電話、LINEなどで相談を受けるようにしています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		必要に応じて開催したいと考えてはいますが、今年度はまだ実施できていません状況をみながら実施の検討をしていきたいと思ひます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情の内容によってはすぐに対応できないこともあるが、子どもや保護者からの声はきちんと受け止め、できる限り迅速に対応するよう心掛けています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	年に数回だがお便りの発行、HPの更新、LINEなどを使って色々な情報を発信するよう努めています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		今後も適切に個人情報の管理できるよう十分に注意をしていきたいと思ひます
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子どもの状況に応じて視覚的に提示したり、その都度声かけをする等子どもの理解に合わせ配慮しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		事業所の取り組みをご理解いただくためにも機会を見つけ、地域の方と楽しめるよう今後もお知らせしていきたいと考えています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		マニュアルはそれぞれ作成しております職員間では目を通したり、シミュレーションをおこなったりしていますが、保護者の方には周知ができていないので、保護者会に合わせて周知できるよう努めていきたいと思ひます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	さまざまな災害については定期的に訓練を実施するようにしています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	入所時のアセスメント、また面談や受診後には必ず確認をし、保護者から情報提供していただいています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーの有無については入所時のアセスメントで保護者に聞きとりや確認を行っています。アレルギーがあり、医師の意見書を提示された場合は指示に従って対応するようにしています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間の避難訓練計画や実施後の報告書等の作成、実施後の職員間での振り返りなどは定期的に実施しています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		避難訓練の実施報告はお便り等でしているが、安全計画などは十分な周知を行っていないので今後きちんと説明していきたいと思ひます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故やケガにつながるような事案があれば報告者（場合によっては責任者）に報告書を記載してもらったり、職員全体に報告してもらったりし再発防止につとめています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に一度は必ず研修を行っています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		特に必要性のある子どもの利用がないため、記載もしていません	